

2006年11月12日 主日礼拝

司会	梅津兄	今村兄	中村勝兄
奏楽			
祈祷	水間兄	勝野兄	川村師
賛美	聖歌232番	(喜び 平安 愛)	
使徒信条			
聖書	ルカによる福音書19章1~10節		
	マルコによる福音書15章33~41節		
音楽	グリーンヒルズ		
	Cloud By Day		
メッセージ	「喜びの朝」 坪井永城伝道師		
	「驚くばかりの恵み」 小崎淳広副牧師		
賛美	「明日はどんな日か」(献金)		
主の祈り			
祝 禱			

彼はみずから懲らしめをこらしてわれわれに平安を与え

その打たれた傷によつてわれわれはいやされたのだ。」

イザヤ五十三の五b

石の枕

ニコロ・パガニーニは、史上最も偉大なヴァイオリン奏者のひとりと考えられています。11才ではじめてコンサートに出たとき、彼はすでに名演奏家でした。そのすばらしい技術は、ヨーロッパ中のヴァイオリン・テクニックに革命を起こしました。

1840年に亡くなったとき、パガニーニは生まれ故郷のイタリア、ジェノヴァに自分のヴァイオリンを遺贈しました。でも、それには条件がひとつありました。それは、「今後だれひとり、このヴァイオリンを弾いてはならない」というものでした。ヴァイオリンを贈られたことをたいへん喜んだ町の長老たちはその条件に同意し、美しいケースに入れてだれも見られるようにしました。

ところが、木製の楽器にはある特徴があります。使っているうちは傷まないのですが、使わないまま放っておくと朽ちはじめるのです。同様のことが、パガニーニのヴァイオリンにも起りました。

かつては最高級品だったヴァイオリンが、虫に喰われて使いものにならなくなってしまったのです。同時期に作られた他のヴァイオリンは、才能ある音楽家から次の音楽家へと世代を越えて引き継がれ、聴く人にすばらしい音楽を奏でつづけました。でもパガニーニのヴァイオリンは、壊れた過去の遺物となってしまったのです。

このヴァイオリンと同じように、天から与えられた才能をしまっておくことはできません。育てなければ、能力はやがて確実に衰え、使いものにならなくなります。けれど絶えず磨いて最善のものを引き出すように努力を続ければ、あなた自身に喜びを与えるだけでなく、他の人の役にも立つ「音楽」を生み出し、あなたを成功へと導いてくれます。

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう!

Aコース:ヘブル9章~13章 Bコース:エゼキエル1章~19章

[大和ニュース]

- ・ 本日、入門、FBI、SS主任、青年、学生、アンサンブル、囲碁、ゴス、ジョイあり。
- ・ 「宴会礼拝」は4時から。映画「瞬きの詩人」(水野源三さん)
- ・ 今週も祈祷会を大切に!水曜夜7時半と木曜朝10時半。説教は梶山副牧師。
- ・ 伝道礼拝は火曜昼2時~3時。説教は倉知師。「緊急災害対策本部長ノア」
- ・ 準備祈祷会は、金曜夜9時~10時半。説教は川村副牧師。
- ・ 英語礼拝は、土曜夜7時20分~8時半。説教はオカムラ宣教師(日本語プリントあり)。
- ・ モーセ会は本日より修養会です(~13日)。
- ・ 大川先生一行は17日(金)帰国です。お祈り下さい。
- ・ ご結婚おめでとございます。伊坂直様と倉本未貴様18日(土)15:30。
- ・ 土曜朝は大和市クリーンキャンペーンです。奮って参加しましょう。9:30教会集合。